

投票所と期日前投票所（三方地域）が変更になります

平成 27 年 4 月 12 日執行予定の福井県知事選挙および福井県議会議員選挙における
第 1 投票所と第 11 投票所の場所が次のとおり変更になりますので、
お間違えのないようにお願いします。

投票所名	投票会場	対象集落
第 1 投票所	みそみ保育所	倉見、白屋、成願寺、上野、能登野、 横渡、井崎、高岸、岩屋、田上、 東黒田、三十三団地
第 11 投票所	ののはな保育園	杉山、堤、兼田、武生、玉置、 上野木、中野木、下野木
期日前投票所	中央公民館 2 階視聴覚室	

《投票所》

- ・第 1 投票所 みそみ保育所
- ・第 2 投票所 明倫保育所
- ・第 3 投票所 中央保育所
- ・第 4 投票所 気山保育所
- ・第 5 投票所 梅の里小学校
- ・第 6 投票所 岬小学校
- ・第 7 投票所 とばっ子保育園
- ・第 8 投票所 瓜生小学校
- ・第 9 投票所 熊川地区公民館（熊川多目的集会施設）
- ・第 10 投票所 若狭町役場上中庁舎
- ・第 11 投票所 ののはな保育園

《期日前投票所》

- ・三方地域 中央公民館 2 階 視聴覚室
- ・上中地域 役場上中庁舎 2 階 会議室

問い合わせ：若狭町選挙管理委員会（総務課内）TEL 0770-45-9109

案 内

JICA ボランティア平成 27 年度春募集

今、開発途上国では様々な分野において、わたしたちの技術・知識・経験が必要とされています。
あなたも海外ボランティアへの扉をたたいてみませんか！？

■募集期間：平成 27 年 4 月 1 日（水）～ 5 月 11 日（月）

■説明会：下記の日程で「体験談&説明会」を実施します。予約・参加費は不要です。

内容は事業概要、応募要領説明、経験者との交流、個別相談等です。

興味のある方なら、どなたでもお気軽にお越し下さい！高校生、大学生も大歓迎です！

- ・ 4 月 5 日（日）10:00 ～ 12:30 福井県国際交流会館（福井市） 第 1・2 会議室
- ・ 4 月 16 日（木）18:30 ～ 20:30 //

■募集ボランティア：

- ・ 青年海外協力隊（20 歳～ 39 歳対象）
- ・ シニア海外ボランティア（40 歳～ 69 歳対象）

■職種：農林水産、加工、保守操作、土木建築、保健衛生、教育文化、社会福祉、観光・商業、
スポーツなど多種

問い合わせ：

JICA 北陸・ボランティア担当 TEL 076-233-5931

国際協力推進員・福井県デスク TEL 0776-28-8800

JICA ホームページ www.jica.go.jp

募 集

企業説明会のご案内

「大学生等企業説明会」が開催されます。

- 日時：3月6日(金)13:30～16:00
(13:00～受付)
- 場所：きらめきみなと館(敦賀市桜町1-1)
- 対象：平成28年3月大学・高専・専修学校卒業
予定者、若年Uターン希望者、既卒の方
- 参加企業：敦賀市・美浜町・若狭町の企業50社(予定)



問い合わせ：
ハローワーク敦賀 TEL 0770-22-4220

案 内

登記相談の予約について

福井地方法務局では、本年2月2日(月)から、
登記の申請に関する相談について
予約制とさせていただきます。
不動産登記等の申請手続に関する相談をされる
お客様は、事前に電話等で
予約していただきますようお願いします。

予約いただいたお客さまには、
お待たせすることなく相談をお受けすることが
できますので、皆様のご協力をお願いします。

ご予約・問合わせ：

- [三方地区]
福井地方法務局敦賀支局 TEL 0770-25-0174
- [上中地域]
福井地方法務局小浜支局 TEL 0770-52-0238

案 内

年金相談開催日についてご案内

平成27年4月からの小浜年金出張相談所は、
毎月第2・第4木曜日の開催となります。
なお、年金相談にお越しになる際は、
開催日の2日前までに、
下記の相談日予約専用ダイヤルまで
ご連絡をお願いいたします。

小浜年金出張相談所 相談日予約専用ダイヤル
0770-23-9905

- 開催日：毎月第2・第4木曜日
(祝日および開催場所の休館日によって
変更があります)
- 場所：小浜市文化会館(小浜市役所横)
- 受付時間：10:00～12:00、13:00～15:00
※開催日の2日前までに相談日予約専用ダイヤル
までご連絡をお願いします。

問い合わせ：
敦賀年金事務所 TEL 0770-23-9905

案 内

ひきこもり講演会と相談会

ひきこもり講演会と総合相談会が開催されます。

《講演会》

- 日時：3月20日(金)13:30～15:30
- 場所：敦賀市福祉総合センター「あいあいプラザ」
- 内容：「ひきこもりの実態とその支援について」
講師 境泉洋氏(徳島大学准教授)
- 対象：家族、相談機関職員、教育関係者等

《総合相談会》

- 日時：3月21日(土)13:00～16:00
- 内容：個別相談(法律相談、心の相談、ひきこもり
相談、生活・就労相談、アルコール・ギャ
ンブル等依存症相談)
- 対象：どなたでも参加できます
- 参加費：無料(個別相談は予約制です。3月18日
までにお電話でお申し込みください)

問い合わせ：
二州健康福祉センター 地域保健課
TEL 0770-22-3747

案 内

証明書自動交付機廃止のお知らせ

おばまショッピングセンター（小浜市）および、
アオッサ（福井市）に設置しておりました
証明書自動交付機は、機械の老朽化に伴い
廃止することとなりました。

ご利用の皆さまには大変ご迷惑をおかけしますが、
ご理解をいただきますようお願いいたします。

■廃止日：平成 27 年 4 月 1 日（水）



問合わせ：税務住民課 TEL 0770-45-9106

案 内

空き家相談総合窓口開設について

「（一社）福井県不動産のれん会」は、
空き家の適正管理や活用（賃貸・売買）
もしくは解体に至るまで様々な相談に対応する
『空き家相談総合窓口』を平成 26 年 10 月に
開設しました。

空き家をお持ちの方、空き家を利用したい方からの
相談をお受けします。お気軽にご相談ください。



問合わせ：

のれん会空き家管理センター TEL 0776-21-5151
（受付時間 平日 9：00～12：00、13：00～17：00）

案 内

職場での悩み、ご相談ください

解雇・賃金など、労使関係に悩みや困りごとは
ありませんか？

労働問題の専門家（福井県労働委員会委員）が
相談に応じます。お気軽にお越しください。
秘密厳守、予約は不要です。



■日時：3 月 1 日（日）13：30～16：30

■場所：敦賀市生涯学習センター 2 階研修室
（敦賀市東洋町 1-1）

問合わせ：

福井県労働委員会事務局 TEL 0776-20-0597

案 内

「嶺南地域就農相談会」開催します

嶺南地域への就農をお考えの方を対象とした
就農相談会を、下記のとおり開催します。

当日は、ふくい農林水産支援センターおよび
嶺南振興局の担当者が、研修や就農に必要な事項
など様々なご相談に個別に対応させていただきます。

研修・就農したい方はもちろん、
農業に関心をお持ちの方であれば、将来のために
情報収集をしたいという方も歓迎します。

お気軽にご来場ください。

■日時：3 月 7 日（土）10：00～16：00

■場所：パレア若狭 研修室 B

■参加費：無料



問合わせ：ふくい農林水産支援センター
TEL 0776-21-8311

案 内

入っていると安心です。 万一の農作業事故への備え

「若狭町農業者労働災害共済」

町内の田畑で農業労働による災害を受けた方を救済する共済制度で、
農家の皆様の掛け金によって運営されています。

■対象となる方

掛け金を納めた方とその家族、また納めた方を雇い主とする雇用労働者に対して支給されます。

■対象となる事故

田植え機・トラクター・草刈機・コンバインなどの農作業機械による事故、また農薬、家畜、マムシ、
落雷による傷害や農作業中の転落・転倒など農作業中に発生した事故が対象となります。

■共済掛け金（掛け金は年1回の掛け捨てで、共済期間は4月1日から1年間となります）

種別	単位	年間掛け金
水稻共済引受面積割	1反（10a）あたり	100円
畑面積割	1反（10a）あたり	100円
果樹栽培面積割	1反（10a）あたり	100円
家畜頭数割	1頭あたり	50円
均等割	1農家あたり	300円

※共済掛け金の例

水稻1町（10反）と梅6反を1つの農家で耕作している場合の掛け金

- ①水稻共済引受面積割 10反×100円＝1,000円
- ②果樹栽培面積割 6反×100円＝600円
- ③均等割 農家あたり＝300円
- 合計（年間掛け金）＝1,900円

■共済の補償内容

- ・医療共済金…事故で医療機関に支払った費用を7万円限度に支給されます（事故発生から1年以内）。
- ・休業共済金…事故による入院・通院・療養のため、就労することができず収入が絶たれる場合、
299,280円を最高限度額として支給されます。
- ・障害共済金…事故による傷病が治ってからも、なお身体に傷害が残った場合に
215万円を最高限度額として支給されます。
- ・不幸にして亡くなられた場合…
【遺族共済金】344万円を最高限度額に一時金として支給されます。
【葬祭料】2万円を遺族、または葬祭を行う方に支給されます。

春の農作業時期に入ります。安全確認をし、事故に注意しましょう。

問い合わせ：産業課 TEL 0770-45-9102

案内

上中病院前駐車場・正面玄関閉鎖のご案内

上中病院改修工事に伴い、患者様の安全確保のため

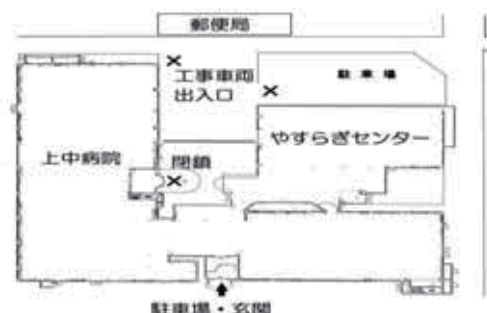
平成27年3月下旬頃から当分の間

病院前駐車場及び正面玄関を全面閉鎖いたします。

患者様の出入りが出来ません。

閉鎖期間中の出入口は裏側の駐車場・玄関の利用となります。

来院される患者様にはご面倒・ご迷惑をおかけしますが、
ご協力をお願いいたします。



問い合わせ：上中病院 事務局 TEL 0770-62-1188

案内

田んぼや畑を数珠つなぎ ー田んぼや畑、自慢しますー

西田の梅の木

深い雪の中、ひっそりと春を待ち続けています。
梅の花の開花が楽しみです。



なしたええんや ーわたしのオススメ、教えますー

山口 榮二さん(大鳥羽・78歳)

油絵を始めて約20年、月に1、2点のペースで風景画を描き続けている山口さん。写真の作品は“舟小屋”。「旅行へ出かけた時に会った風景を日記がわりに描いています。地元では特に三方五湖の風景が好きです」4月開催の国立新美術館の示現会にも出品されます！(つばな会油絵展にて)



こちらのページでは若狭町にお住まいのみなさんをご紹介します。掲載をご希望の方は、お気軽にご連絡ください！

NPO わかさ Reco. Tel : 050-3701-8341 Fax : 050-3730-7496 Facebook ページ : 「わかさのススメ」

文 芸 ひ ろ ば

へ大鳥羽山水俳句会へ

縁遠き恋の歌留多の真正面
穏やかに老いを願って雑煮祝ふ

桧鼻澄美江(大鳥羽)
森下藤子(大鳥羽)

へ海士坂俳句会へ

初旅や年縞の湖底暗く
仕事始め握拳を高々と

内藤増之(海士坂)
池田マリ子(海士坂)

へかをり歌会へ

兄の手に成りし学徒の動員記

わが本棚に異彩を放つ

須磨悌(気山)

葺替へし舟小屋の屋根角立ちて

棟の青竹冬日に耀ふ

前田鈴子(田上)

へ上中短歌会へ

ダムに近き新任校で久々に

教え子集う我を囲みて

鹿野公夫(飯屋)

松毬の窄むを見たしと水盤に

漬ければ黒く膨らみてゆく

岡本小百合(安賀里)

へ川柳湖畔へ

青春の思い出深い木の校舎

ぶらり来てぶらりと帰る法螺吹いて

今川てる子(鳥浜)

へほつと川柳へ

姿見に写るおしゃれも曲がり腰

自分流おしゃれ空間模様替え

中塚よしゑ(脇袋)

へ若狭町冠句の会へ

男の背嵐の前の眉涼し

光る文字心優しい「ありがとう」

松村祥風(鳥浜)

西川寿恵(三生野)

3 歳 で す

このコーナーでは、3歳を迎える町内にお住まいのお子さまに登場していただいています。
 なお、ご応募いただいた方のみ掲載しています。今回は平成24年3月生まれの3歳になるお子さまです。



◀ 竹内 ^{いつき} 樹生くん
 3月18日生まれ（脇袋）
 親：裕亮・有香さん
 仮面ライダー大好き。
 毎日元気に変身ごっこしてるよ！



◀ 井上 なづなちゃん
 3月21日生まれ（能登野）
 親：勝利・智子さん
 積み木、三輪車、砂遊びだ〜い好き！
 早く暖かくならないかなあ！！



◀ 西 ^{このみ} 心乃美ちゃん
 3月29日生まれ（横渡）
 親：健太郎・晶子さん
 毎日、妹のお世話
 がんばってまーす。

次回は平成24年4月生まれのお子さまが対象です。
 写真と25字以内のコメント、生年月日、
 ご両親のお名前、連絡先を添えて、
 総務課または上中サービス室へ提出してください
 （メールでの送付も可）。3月2日（月）必着です。
 ●問い合わせ 総務課 TEL:0770-45-9109
 メール:soumu@town.fukui-wakasa.lg.jp
 （受信確認のため、必ずお電話ください）

新春の“五湖俳句会”

月に一度の俳句会に向けて、メンバーは毎月5つの句を提出します。「毎日作ったらええんやけど、なかなかせずに、締め切りの日に慌てて作るんやねえ」と笑って話される森幸子さん。「季語はたくさんあって、知らんことがいっぱいあるんよ」とは前田鈴子さん。

この日は新春の句会。全員の句を読み上げて、誰が詠んだかは名前を伏せて、自分はどの句が好きかと選句して紙に書きます。この日の人気は宇野みよ子さんの「しなやかな指が風切る歌留多取り」に。

いつも広報誌の中でもご紹介していますが、町内には、俳句や短歌、川柳を楽しむ人がとてもたくさんいらっやいます。

五湖俳句会の先生 古川浄雪さんは、青年団の俳句会の頃から始められたとか。他の町と比べても、俳句を詠む人は多く、町内に100人近くはいらっやるといことでした。

句会が終わった後は新年会が始まり、美味しい料理に舌鼓を打ちながらも、会話は今日の句が話題に。手元には季語辞典を携え、「そんな季語あったなんて知ら



なかった〜」「私はこんな思いでこの句を詠んだの」と、句への思いは尽きません。

俳句会に入って数十年にもなり、知事賞を受賞されたこともある大崎昌子さんは「体が動けなくなっても、鉛筆と紙さえあれば出来ることと勧められて始めました」

人が生きて行く中には、楽しいことも辛いことも、体が自由にならないこともある。そんなときに、そっと、言葉に心を寄せる時間があるのは幸せなことかもしれませんね。